



由良町

こんにちは! 議会です

発行/由良町議会 発行責任者/議長 玉置一郎
編集/議会広報編集委員会
〒649-1111 和歌山県日高郡由良町里1220-1
TEL.0738(65)1100 FAX.0738(65)0226

2015.5.1

NO. 106



27年度の

ピカピカ 新入生

平成27年 3月定例会 3月10日～19日

当初 予算 平成27年度一般会計 歳入・歳出37億9000万円

平成27年3月10日から19日まで10日間の会期で開きました。今回の定例会では、条例4件、条例改正10件、条例廃止1件、人事案件2件、一般会計当初予算1件、特別会計当初予算6件、補正予算5件すべて原案通り可決・承認・同意しました。一般質問は、6名の議員が登壇しました。



歳入

財産収入増の要因は？

旧白崎中学校運動場の貸付など

問 財産収入で土地貸付収入が前年度と比較して2倍以上の増額となっているが、この要因は？

答 (企画政策班長) 旧白崎中学校運動場の貸付収入と、阿戸地内の太陽光発電用地の貸付によるものです。

歳出

医療費助成は？

ひとり親家庭医療費などに助成

問 現在、中学校3年生まで医療費助成事業となり、町民から喜ばれているが、他に、どのような医療費助成制度がありますか？

答 (住民福祉課長) 当町では、身体障害者医療費、老人医療費、こども医療費、ひとり親家庭医療費といった助成を行っています。

原付のナンバープレートは？

ご当地ナンバーを作成

問 原付のナンバープレートですが、由良町の特徴のある、ナンバープレートづくりを考えていただきたい。

答 (税務課長) 定番のナンバープレートではなく、ご当地ナンバーの作成を考えています。

ナンバープレートに由良町の名勝、旧跡、由良町のマスコットキャラクター「ゆらの助」をあしらったデザインを検討しています。



紀の国わかやま国体関連事業は？

「花のプランター」を設置

問 今年、県内で国体が開催されますが、由良町ではどのような関連事業を考えていますか？

答 (企画政策班長) 国道42号線入路交差点に大きな花のプランターを置き、Aコープ前を通って由良港橋の手前まで花のプランターの設置を考えています。



国道42号線入路交差点付近

門前コミュニティセンター改修工事について

重要な避難場所に位置付け

問 門前コミュニティセンター改修工事の内容は？

答 (企画政策班長) 耐震化のために壁を4面程度補強し、災害等における重要な避難場所に位置付けします。

一般会計 補正予算 1480万円を追加

平成26年度一般会計歳入歳出それぞれ39億8290万円へ

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用した「商工、観光関連事業」及び「漁業振興事業」を中心とした補正です。

①地域消費喚起・生活支援型事業 1650万円

消費喚起プレミアム商品券発行 700万円

ふるさと名物PR事業 150万円

プレミアム旅行券発行事業 800万円

②地方創生先行型事業 3300万円

由良町総合戦略策定事業 800万円

コミュニティバス運行事業 400万円

観光振興事業 1400万円

漁業振興事業 700万円

③その他 減額△3470万円

臨時福祉給付金
高齢者保健福祉計画策定業務
基幹系クラウドシステム関係費



ふるさと納税してくれる方々は？

町出身者や町外に住んでいる職員

問 ①どのようなPRをやっているのか？
②納税者に対しての特典は？
③どのような方々が納税されていますか？

答 (企画政策班長)

①ホームページ等でPRをしています。
②全国的にも特典が豪華すぎると問題等も出ていますが、本町では特産品である衣奈ワカメ、八朔などを特典とし、産業振興にも寄与していると思っています。
③由良町出身の方とか、別荘にお住まいの方、町外から通う本町の職員とその家族の方から納税してもらっています。



※写真はイメージ

プレミアム旅行券のPRは？

観光情報紙に掲載

問 プレミアム旅行券発行で観光客増加がみこまれますが、PR方法が大事でいままでのパンフレットだけでなくネットの活用も検討しては？

答 (参事) 旅行券の取扱いは観光協会にお願いしたいと考えています。宿泊及び会席料理等に割引券発行を検討します。また、観光情報誌への観光PR記事を掲載します。

平成27年度 特別会計当初予算 総額23億4970万円

国民健康保険

歳入・歳出10億8200万円

問 「人間ドックと総合健診」の受診者数と費用は？

答 (住民福祉課長) 人間ドックは平成26年度118名の受診者がありました。平成27年度は150人を対象に予算化しています。平成26年度には417名が受診しています。費用は一人4万3千円です。



軽減世帯数は？

全体で788世帯

問 国民健康保険税で軽減世帯は？

答 (税務課長) 加入世帯数は1206世帯で、そのうち788世帯が軽減されています。2割軽減世帯は155世帯、5割軽減世帯は166世帯、7割軽減世帯は467世帯です。

後期高齢者医療保険

歳入・歳出1億5630万円

後期高齢者の医療保険制度は？

所得によって軽減されます

問 後期高齢者の方々の行っている施策と課題は？

答 (住民福祉課副課長) 一人暮らしの方に対して、見守りを兼ねながら週に一度弁当を届ける配食サービスを行っています。元気な高齢者に対して、週に一度社会福祉センターで、入浴したり楽しんでもらったりする「元気デイ」を実施しています。



問 後期高齢者医療保険料の低い方と高い方の差は？

答 (住民福祉課副課長) 年間保険料が一番低い方で4400円、高い方で57万円となります。

介護保険

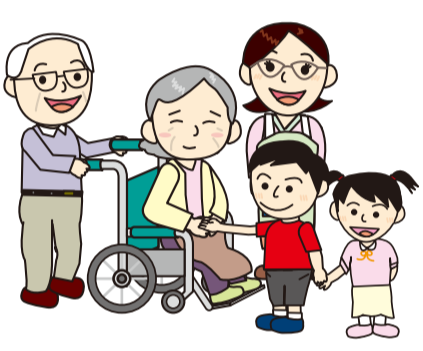
歳入・歳出7億6750万円

第6期の介護保険料は？

基準額が少し上がります

問 第6期の介護保険料は、どのようになるのですか？

答 (住民福祉課副課長) 平成27年度から3年間、65歳以上の方の介護保険料の基準額が、現在の年額6万8280円から7万1280円、月額では、5690円から5940円になります。



公共下水道事業

歳入・歳出4億9500万円

長時間の停電の対処法は？

準備は常に行っています

問 長時間の停電になった場合、マンホールが、あふれる懸念がある。それへの対処法は？

答 (工務班長) 発電機を持ち込み、ポンプを動かす準備は常に行っており、発電機が間に合わない場合はバキュームカーによる汲み取りで対処します。

漁業集落環境整備事業

歳入・歳出2億6900万円

使用料増額の要因は？

接続増加に伴うものです

問 漁業集落環境整備施設使用料の増額の要因は？

答 (工務班長) 申請件数は増加傾向にあり、平均は増加傾向にあり、平成27年度、衣奈クリンセンターへの接続件数は、100件程度を見込んでいますので、それに伴う使用料を増額するものです。

水道事業

支出5億5570万円

水道設備等の耐用年数と現状は？

30年以上あります

問 町民にとって大切な水道事業ですが、維持管理を考えると管路、建物などの耐用年数が大切に

50年です。それから浄水の配水管については、40年となっています。ポンプ設備については、15年が標準的な耐用年数と

なっていますが、実際のところはどの様になっているのか？

答 (工務班長) 耐用年数については、鉄骨鉄筋コンクリート造りの建物で

白崎海洋公園設置及び管理に関する条例改正について

問 条例改正をしなければならぬほどの違反行為があったのか？

答 (参考) 公園を管理している職員が、立入禁止区域に入った人に注意した際、出ていこうとしない人がいるためです。

問 夜間の管理体制、立入禁止処置はどのようになっているのか？

答 (参考) 夜間の場合、宿直の職員だけでは、対応しきれない部分がありますので、不法行為がないようにするため警察のパトロールを要請しています。



条例 教育委員会制度

教育委員会の制度が変わりました。従来の教育委員長と教育長を一本化して「新教育長」が創設され、任期が4年から3年になりました。

また、首長が主宰する「総合教育会議」が設置され、教育方針のもととなる「大綱」が策定されます。首長の権限を強化、首長と教育長の責任を明確化し、いじめ問題など緊急事態に的確に対応できることが期待されています。

請願を採択

「ウイルス性肝炎患者に対する、医療費助成の拡充を求める意見書」

1. ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること。
2. 身体障害者福祉法上の肝臓機能障害による身体障害者手帳の認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度にすること。
3. ウイルス性肝炎が原因である肝硬変、肝がん患者の生活支援のための制度を早期に創設すること。

提出先
衆議院議長 参議院議長
内閣総理大臣 厚生労働大臣

一般質問

議員が町行政の問題などを問いただす「一般質問」は6名の議員が質問に立ち、町当局の考えを質しました。以下その内容を要約してお知らせします。(文面はすべて質問者本人の原稿によるものです。)

由良町の防災対策、由良港湾整備事業について 深い憂慮と強い危機感を 持っている



馬場 博文 議員

問 平成24年に新規採択された、由良港湾整備事業については、町議会、区長会、漁協役員が協力して再三にわたって要望してきた結果ようやく前進をしたが、今現在の状況はどうなっているのか？
また、同じく事業採択された前田川河川改修事業の進捗状況はどうなっているのか？



重山から見た由良港湾

答 (町長) 県においては、潮流調査等を行ってきました。事業の概要は防波堤を日高町側100m、由良町側350m、合計450mを設置する予定です。これに要する費用が約50億円と言われていますが、費用対効果も十分発揮されると聞いています。漁業活動への影響が出ないかなど丁寧に調査を実施し、漁業振興において障害があるとは考えられないと聞いています。県も再三にわたって話し合いをしていますが、日高町側での理解が得られていない状況であると報告を受けています。私は、深い憂慮と強い危機感をもっています。町民の命を守る極めて重要な公共施設であり、1日も早い工事の着手を県へ要請しています。日高町の関係者の皆様にも、由良町民の命を守るといふ願いを共有していただけるように、皆さんの力を結集して取り組んでまいりたいと決意を新たにしています。前田川の改修事業は延長245m、事業費3億5千万円で事業の進捗状況は用地買収等、工事も含めて約50%です。由良川の改修は将来的には取り組んでいく必要はあると考えています。

- (その他の質問)
- ・ふるさとに誇りと活力を
 - ・インフラ整備と観光による町活性化を！
 - ・インフラ整備の進捗と今後の計画について

山の尾根を整備しては どうか 山の道をつなげるよう 検討したい



山名 実 議員

問 津波で建物が壊れ、地盤沈下が起こり水がひかない場合、安全に避難できるように、山の尾根を整備してはどうか？また以前にも一般質問をしたが、高台の広場へのテント、備蓄倉庫の設置は難しいのか？孤立した地域の対処方法はどのように考えているのか？
そして、吹井の水門と由良港湾の整備状況は？

答 (町長) 一時的な避難場所は設定させて頂いてあります。山の道の整備は地元から必要だという事であれば、町も支援をさせてもらうことになり。テント、備蓄倉庫は、各地域の要望に基づいて設置をしていると私は理解していますが、自主防災会と連携をしながら必要であればやっていきたいと思っております。孤立した地域については、空からの救助または海上となると思うが行政としては2、3日たたなければ外部からの支援は難しいので自分で自分の命を守ってほしい。また、個人備蓄は7日分程度必要と啓発しております。吹井の水門については、東日本大震災の影響で設計を見直さなければならなくなった事と、詳細設計の入札が不調に終わったことで遅れております。

問 山の道の整備は各地区の要望があれば考えてもらえないでしょうか？
答 (総務政策課長) 安全に避難できるのは山道ですので、地元の自主防災会の皆様と相談しながら考えていきたい。また、網代区から尾根つたいに里区へ山道をつなげるようなことも検討したいと考えております。

- (その他の質問)
- ・安心安全な由良町に



防災倉庫(網代区)

危機感を持つために 避難訓練の充実を 実効性のある訓練を検討したい



中村 真一 議員

問 巨大地震の発生には、誰もが危機感を持っています。この危機感を持続させるためには、避難訓練の充実が考えられますが、由良町が独自で計画する避難訓練の実施予定は？
答 (町長) 巨大地震を想定した県下一斉の津波避難訓練は、昨年11月に実施し、1469名の方が参加されました。また、昨年5月には、職員を対象として、抜き打ちでの非常招集訓練も実施しました。町全体で一斉に訓練を実施していますが、地域独自で訓練を行うことが、一番意識付けする上で効果があるように思います。各地区の自主防災会と連携を図りながら、地域を限定し、様々な実効性のある訓練の実施に向けて検討していきたいと考えています。



避難所運営訓練

防災拠点のバックアップ体制は？ ゆらこども園を代替拠点として考えている

問 役場庁舎が津波による浸水で防災拠点として機能しなくなったりした場合のバックアップ体制は、どのようになっているのか。また、想定訓練等は実施しているのか。
答 (町長) 本年度策定する地域防災計画において、「ゆらこども園」を代替拠点施設として考えています。訓練等については、昨年5月に役場庁舎が使用できないとの想定で、「ゆらこども園」を防災拠点として職員の非常招集訓練を実施しています。

- (その他の質問)
- ・現在「ゆらこども園」は、代替拠点施設として指定されています。
 - ・津波危険区域における避難所の設置について

一般質問

ヒートポンプ給湯器による 低周波音健康被害は？

国において、リスク低減に向けた取り組みを
行うよう意見書が提出されている



川出 純 議員

問

今年2月、県議会においてヒートポンプ給湯器による低周波音健康被害について、取り上げられている深刻な問題です。ヒートポンプ給湯器とは、空気中の熱をヒートポンプという技術で熱を集め、お湯を沸かす電気給湯器で一般的に「エコキュート」などとして発売されています。

町内の施設前に住んでいる住民の方が、施設のヒートポンプ給湯器から原因とされる環境省参照値を大きく超える低周波音に悩んでいます。

県当局も、昨年2回にわたって行政手続法に則って行政指導も行っていきます。

そこで2点お聞きします。

①町当局は、立会人としてどのような認識を持ち、対策を考えているのか？

②今後、町内で起こりうる問題であると考えています。この被害が2度と出ない様な対策について答弁頂きたい。

答

(総務政策課長)このヒートポンプ給湯器の件については、平成24年10月に国の消費安全調査委員会が「家庭用ヒートポンプ給湯器から生じる運転音・振動により不眠等の健康症状が発生したとの申し出」を受付しています。

この件について審議を重ね、平成26年12月19日付で「消費者安全法第23条第1項に基づく事故調査等原因調査報告書」をまとめ、経済産業省、消費者庁、環境省、公害等調整委員会に対して、健康症状発生のリスク低減に向けた取組を行っていくよう意見書が出されました。

議員ご指摘の事案についても、施設側は「防音シートの設置」「夜間の運転停止」「昼間の運転出力60%の措置」を取っていると伺っています。現時点において、施設側として施工業者や製造メーカーとの協議も含め、更なる対策を協議していると承知しています。

答

(町長)県が行政指導しているということでありまして、今までの経緯から、町においても苦情が寄せられました。

その苦情について、施設側にも伝え、出来るだけ軽減を図る方法が無いのか、など検討して貰いながらやってきた経緯もあります。

私も、低周波音なのか？いわゆる騒音なのか？少し理解しがたく、騒音ではないかというような認識を持っていますが、低周波音ということになると製造メーカー側が、環境基準をクリアするような製品を作った販売してもらわなければならない。当然、製造者の責任というものは大きいと思います。

低周波音が、どの程度環境基準をオーバーしているのか、ちょっと認識不足で申し訳ないが、環境省、経済産業省を通じてメーカー側への指導と同時に、消費者庁などにおいて苦情等を十分把握した中で業者指導していくことが大事であると思います。

町として、そういう苦情があった場合は真摯に相談に乗り、民間同士のごとくで円満に収まるような形の中で、話し合いをしていただきたいと思います。

(その他の質問)

- ・戸津井地区鍾乳洞の観光開発について
- ・Aコープ及び中央公民館前の歩道の改修について
- ・国道42号線の側面の改修について

風力発電の低周波音による健康被害について

客観的な根拠が説明できない質問に
対しては答弁いたしかねます



由良 守生 議員

問

私は平成23年12月議会から、風力発電の低周波音の被害を受けて、頭痛耳鳴り、目まい、首の痛み、不眠、体のしんどさなどに苦しめられていることを訴えてきました。

この間、日高町や白浜町で計画されていた風力発電事業計画が中止となりました。

風力発電事業者との協定書には「低周波、電磁波等により、地区住民に苦痛を与えないこと」と書かれています。これは当初から、風力発電には地区住民に苦痛を与える可能性があったことを自ら示しているのです。

ヨーロッパ、オーストラリア、アメリカなどでは、たくさん被害例が報告されています。日本でも、各地に風力発電が建設されて被害の実態が明らかになってきました。由良町には、事実のみがあるんですから、目の前にいる被害者の声に、きちんと議論をしようではないですか。被害の実態を誠実に調査してください。

答

(総務政策課長)このような客観的な根拠が説明できない案件、質問に対しての答弁はいたしかねます。

町におきましては、体調不良を訴える町民の方がいるのであれば、今まで同様、当町の保健師はもとより御坊保健所と連携しながら対応してまいりたいと考えております。



地方創生の戦略、 定住化対策について

英知を結集して



中谷 茂生 議員

問

『地方創生』について

地方創生での戦略策定のための協議会に、多くの若者をメンバーにしてはどうか？

協議会に下部チームを作っては？

これまで定住化対策はどの程度行われてきたか？

地域おこし協力隊の活用は？

教育環境について

・学力テストの結果は、中学校だけは公表できるのでは？

・小学校統合は検討するべき段階ではないか？

答

(町長)これからの由良町を担っていく若者の意見は重要であり、いい人材が見つければ意見を取り入れるのは当然です。協議会には各団体、組織の代表者を想定しているため、それぞれの組織の人々の意見を集約できますし、提携の摂南大学の教授、学生等、広く意見は取り入れられます。

地域おこし協力隊は、失敗の事例も多く、慎重に考える必要があります。現在外部からの二人の方が農業に取り組んでおり、そういう人たちの支援をしていく方が大事と考えています。

定住策は色々な施策を講じてきていますが、なかなか解決には至っていないのが現実であります。

地域活性化には、各産業の振興が一番の活力の源であり、英知を結集した中で各団体に先導的な事業を進めていってほしい、行政は支援できるところは支援していくというスタンスが大事だと考えております。

答

(教育長)中学校だけの公表も考えておりませんが、本人、保護者への説明は行うよう指導しております。

統合の検討には入っておりませんが、統合の指針が今年改訂され基準が下がったため協議は今後必要になってくるのではと考えています。



3月2日臨時会 議長・副議長を選出

新しい議員の顔ぶれ



玉置 一郎 議長

今回の改選において、議長に選任された重責を実感しています。
議会は、町民皆様の代表者である議員10名が、行政のチェック機能として役割を果たし、町に対して政策提言を行い、車の車輪の如く町執行部と共に「住んで良かった、住んでみたい」由良町の実現に向けて頑張ります。



中村 真一 議員

皆様のあたたかいご支援で、新しく議員とならせていただき、ありがとうございます。
災害に強い町づくりに取り組む、「明るく魅力ある元気な由良町」の実現に向けて、一生懸命がんばります。



中谷 茂生 議員

今回議員としての活動を始めさせていただき、ありがとうございます。
この町を「消滅しやうがない、元気な町」にしていかなければなりません。皆が協力して取り組む必要があります。多くの方々の意見、考えをうかがって、お役に立てるよう精一杯頑張るつもりです。



山名 実 議員

2期目を努めさせていただきます。ありがとうございます。
若者が住みやすく高齢者に優しい町づくりにと初心を忘れず取り組んでいきたいと思っております。皆様の声を聞かせていただき一緒に考えて、より良い由良町にしていきたいと思っております。



馬場 博文 議員

3期目の議席を与えていただき、ありがとうございます。
2期8年の経験を生かし、ふるさと由良町の為に政策提言と、より町民目線にたった、チェック機能を果たしてまいります。



藤田 富三 副議長

私の3期目は無投票とあった形で当選させていただきました。町民の皆様方の温かいご支持ご支援大変有りがとう御座いました。



森 三枝子 議員

念願の町議になれた事に、町民の皆様方には心よりお礼を申し上げます。私は「ありがとう」をキャッチフレーズに、町民の皆様のご要望、ご意見を議会に持って行く役割をフルに利用していただける町議でいたいと思います。



由良 守生 議員

みかんと米を作りながら、2期目の議員を勤めることになりました。これまで、私にできることは懸命にやってきたつもりです。



吉田ひとみ 議員

「元気な由良町」「安らげる街由良町」「生まれながらに皆様が一緒にしたい」と思っています。



川出 純 議員

6回目の当選をさせていただきます。ありがとうございます。

議会事務局

局長 磯崎 弘
書記 上田かおる
書記 古部 京子

監査委員

任期満了に伴い、吹井252番地の8 山名 実氏

の選任に同意しました。

人事

固定資産評価審査委員会委員

任期満了に伴い、衣奈192番地の3 上道 一郎氏

の選任に同意しました。

編集後記

議会広報も106号を発刊することができました。メンバーも新しく3人が加わり議会用語や、法律の話をし、議論をしながら委員7名一生懸命がんばって広報紙作りに取り組んでいます。

議会広報編集委員会

委員長 川出 純
副委員長 森 三枝子
委員 中村 真一
中谷 茂生
由良 守生
山名 実
吉田ひとみ

【常任委員会】

委員会名	委員長	副委員長	委員		
総務文教常任委員会	山名 実	中谷 茂生	中村 真一 馬場 博文	森 三枝子 玉置 一郎	由良 守生
産建厚生常任委員会	吉田ひとみ	中村 真一	森 三枝子 川出 純	中谷 茂生 藤田 富三	馬場 博文

【総務文教常任委員会所管事務】

一般行財政、町有財産、消防、教育及び他の委員会に属しない事務についての調査及び議案、請願の審査を掌る。

【産建厚生常任委員会所管事務】

農林水産、商工、観光、労働、都市計画、土木、住宅建築、水道、社会福祉、保健衛生、環境衛生、国民健康保険、下水道事業についての事務及び議案、請願の審査を掌る。

【議会運営委員会】

議会運営委員	馬場 博文	吉田ひとみ	中村 真一 由良 守生 藤田 富三	森 三枝子 山名 実	中谷 茂生 川出 純
--------	-------	-------	-------------------------	---------------	---------------

議会広報編集委員会	川出 純	森 三枝子	中村 真一 山名 実	中谷 茂生 吉田ひとみ	由良 守生
-----------	------	-------	---------------	----------------	-------